

助産学実習Ⅱ

単位数：2単位

○橋本 美幸：臨床看護学講座准教授
松浦 志保：臨床看護学講座講師

1. 科目の教育方針

ハイリスク妊産褥婦と胎児・新生児のもつ疾患・リスクおよびその治療・管理について学び、身体・心理・社会的側面から統合的に対象を理解する力と助産実践力を養う。

ハイリスク児を持つ親とその家族を取り巻く社会環境や支援など様々な問題について学び、医療施設内外関連機関の多職種との連携・協働のあり方、包括的なケアについて探求できる力を養う。ハイリスク母児へのケアや支援を通して助産師の倫理的態度について考察を深める。

2. 教育目標

- 1) ハイリスク妊産褥婦の病態、治療方針、管理について理解し、助産過程の展開と対象の状態に応じた助産ケアを、指導者の指導のもと実践できる。
- 2) ハイリスクの妊産褥婦の心理的、社会的影響をアセスメントし、包括的なケアについて考えることができる。
- 3) ディベロップメンタルケアなど新生児を尊重したケアについて理解できる。
- 4) ハイリスク児が家族に与える影響をアセスメントし、家族を含めた包括的なケアについて考察できる。
- 5) 退院に向けた支援など医療施設内や地域関連施設との連携の在り方について学び、考察できる。
- 6) ハイリスク母児とその家族へのケアの際の助産師の役割と倫理的態度について考察できる。

3. 教育の方法、進め方、評価等

1) 実習施設

益田赤十字病院
島根大学医学部附属病院
東部島根医療福祉センター

2) 実習時期（期間）

1年次後期（2週間）

3) 実習内容

- ・ハイリスク妊婦事例の受け持ち実習

- ・ NICU 見学実習
- ・ 重症心身障害児の生活見学実習

【評価】

実習目標に沿って以下の内容から総合的に評価する

実習記録、実習への取り組み姿勢、妊産褥期の評価表、カンファレンス参加状況、
実習レポート